

## <県産農林水産物の認知度について>

### 【調査の目的】

福岡県には高品質で美味しい農林水産物がたくさんあります。それらの銘柄の認知度や購入動機等についてのご意見をお聴きし、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

### 【活用状況】

農林水産物のブランド化のための事業効果を把握するため等の基礎資料として活用します。

(農林水産部 園芸振興課)

1(1) 県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)で知っているものを選んでください。

(今年度調査 N=355 複数回答可 回答件数=1,938)

県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 いちじく「福岡のいちじく」	32.1%	(116名)
2 いちじく「とよみつひめ」	52.6%	(190名)
3 いちご「博多あまおう」	96.7%	(349名)
4 みかん「福岡みかん」	31.9%	(115名)
5 みかん「北原早生(きたはらわせ)」	8.6%	(31名)
6 みかん「早味かん(はやみかん)」	11.4%	(41名)
7 ぶどう「福岡ぶどう」	22.4%	(81名)
8 なし「福岡なし」	18.6%	(67名)
9 柿「福岡のかき」	28.3%	(102名)
10 柿「秋王」	25.8%	(93名)
11 キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	12.5%	(45名)
12 キウイフルーツ「甘うい(あまうい)」	16.3%	(59名)
13 もも「福岡のもも」	8.9%	(32名)
14 ずもも「福岡のずもも」	4.7%	(17名)
15 なす「博多なす」	40.4%	(146名)
16 ねぎ「博多万能ねぎ」	63.7%	(230名)
17 トマト「博多のトマト」	19.4%	(70名)
18 レタス「福岡レタス」	15.0%	(54名)
19 なばな「博多な花おいしい菜」	8.0%	(29名)
20 きゅうり「博多きゅうり」	10.8%	(39名)
21 アスパラガス「博多アスパラガス」	8.9%	(32名)
22 いずれも知らない	0.0%	(0名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均(年代・男女別)

	全世代			18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	202	152	1	11	4	34	15	45	33	41	34	31	27	25	28	15	11
品目数	6.3	4.4	6.0	6.4	3.5	4.0	2.3	5.6	4.2	6.6	4.1	8.1	6.1	7.8	4.7	6.7	4.6

### ○結果の概要

今年度、重点的に認知度向上の取組みを行った、みかん「早味かん」、北原早生、柿「秋王」、キウイフルーツ「甘うい」は、昨年に比べ認知度が向上した。

1(2) 県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)で知っているものを選んでください。

(今年度調査 N=355 複数回答可 回答件数=2,578)

県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 米「夢つくし」	89.2%	(322名)
2 米「元気つくし」	83.1%	(300名)
3 ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	51.0%	(184名)
4 しめじ「博多ぶなしめじ」	51.8%	(187名)
5 えのきだけ「博多えのき」	27.1%	(98名)
6 むめりすぎたけ「博多すぎたけ」	2.2%	(8名)
7 「県産たけのこ」	23.0%	(83名)
8 「県産しいたけ」	16.1%	(58名)
9 緑茶「福岡の八女茶」	85.9%	(310名)
10 緑茶「八女伝統本玉露」	36.0%	(130名)
11 畳表「博多華織(はかたかおり)」	15.8%	(57名)
12 鶏肉「はかた地どり」	75.1%	(271名)
13 鶏肉「はかた一番どり」	73.7%	(266名)
14 牛肉「博多和牛」	31.3%	(113名)
15 牛肉「福岡牛」	11.1%	(40名)
16 豚肉「博多すいとん」	7.5%	(27名)
17 「県産牛乳」	33.8%	(122名)
18 いずれも知らない	0.6%	(2名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均(年代・男女別)

	全世代			18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	202	152	1	11	4	34	15	45	33	41	34	31	27	25	28	15	11
品目数	8.0	6.5	3.0	8.1	7.0	5.8	4.7	7.7	6.8	8.6	6.9	9.3	6.9	9.8	5.8	6.7	7.5

○結果の概要

昨年度よりも認知度が下がった品目もあるが、全体的に認知度が向上している。

1(3) 県産農林水産物の銘柄(水産)で知っているものを選んでください。

(今年度調査 N=355 複数回答可 回答件数=1,381)

県産農林水産物の銘柄(水産)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 「福岡有明のり」	71.7%	(259名)
2 「豊前海一粒かき」	39.3%	(142名)
3 「糸島カキ」	70.6%	(255名)
4 「唐泊恵比須かき(からとまりえびすかき)」	12.2%	(44名)
5 「津屋崎干軒かき」	6.9%	(25名)
6 「若松妙見かき」	3.0%	(11名)
7 「豊前本ガニ」	13.6%	(49名)
8 「鐘崎天然とらふく」	14.4%	(52名)
9 「カナドフグ」	24.7%	(89名)
10 「夏ふく」	0.8%	(3名)
11 「一本槍(いっほんやり)(釣りケンサキカ)」	10.8%	(39名)
12 「博多もずく」	15.8%	(57名)
13 「糸島産ふともずく」	6.1%	(22名)
14 「あかもく」	33.8%	(122名)
15 「弘わかめ(ひろわかめ)」	5.3%	(19名)
16 「金印汐わかめ(きんいんしおわかめ)」	4.2%	(15名)
17 「筑前海加布里産天然ハマグリ(ちくぜんかいかりさんてんねんはまぐり)」	2.5%	(9名)
18 「釣りあじちゃん」	4.2%	(15名)
19 「特鮮本鱈(とくせんほんざわら)」	0.8%	(3名)
20 「関門海峡たこ」	24.4%	(88名)
21 アカウニ「海士の極(あまのきわみ)」	1.7%	(6名)
22 「スイゼンジリ」	10.2%	(37名)
23 いずれも知らない	5.5%	(20名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	202	152	1	11	4	34	15	45	33	41	34	31	27	25	28	15	11
品目数	4.1	3.5	3.0	2.5	3.3	2.4	1.7	3.6	3.5	4.0	3.4	5.5	3.9	5.9	4.2	4.5	4.2

○結果の概要

重点的に認知度向上を図りたい品目について「一本槍」は向上、「豊前本ガニ」「鐘崎天然とらふく」等は減少した。

2(1) 県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)で購入経験があるものを選んでください。

(今年度調査 N=355 複数回答可 回答件数=1,425)

県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 いちじく「福岡のいちじく」	17.2%	(62名)
2 いちじく「とよみつひめ」	31.3%	(113名)
3 いちじく「博多あまおう」	90.9%	(328名)
4 みかん「福岡みかん」	25.2%	(91名)
5 みかん「北原早生(きたはらわせ)」	6.4%	(23名)
6 みかん「早味かん(はやみかん)」	6.9%	(25名)
7 ぶどう「福岡ぶどう」	16.6%	(60名)
8 なし「福岡なし」	15.5%	(56名)
9 柿「福岡のかき」	19.7%	(71名)
10 柿「秋王」	12.5%	(45名)
11 キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	7.5%	(27名)
13 キウイフルーツ「甘うい(あまうい)」	8.0%	(29名)
14 もも「福岡のもも」	6.6%	(24名)
15 すもも「福岡のすもも」	2.2%	(8名)
16 なす「博多なす」	31.3%	(113名)
17 ねぎ「博多万能ねぎ」	47.6%	(172名)
18 トマト「博多のトマト」	15.2%	(55名)
19 レタス「福岡レタス」	12.2%	(44名)
20 なばな「博多な花おいしい菜」	5.0%	(18名)
21 きゅうり「博多きゅうり」	8.3%	(30名)
22 アスパラガス「博多アスパラガス」	5.8%	(21名)
23 いずれも購入したことがない	2.8%	(10名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	202	152	1	11	4	34	15	45	33	41	34	31	27	25	28	15	11
品目数	4.9	2.9	3.0	5.3	1.0	2.1	1.3	3.8	2.9	4.3	3.1	6.3	3.7	6.4	4.1	6.4	4.3

○結果の概要

今年度、重点的に認知度向上の取組みを行った、みかん「早味かん」、「北原早生」、柿「秋王」、キウイフルーツ「甘うい」は、昨年に比べ購入者が増えた。

2(2) 県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)で購入経験があるものを選んでください。

(今年度調査 N=355 複数回答可 回答件数=1,694)

県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)		割合(今年度)	人数(今年度)
1	米「夢つくし」	68.4%	(247名)
2	米「元気つくし」	58.4%	(211名)
3	ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	18.3%	(66名)
4	しめじ「博多ふなしめじ」	46.5%	(168名)
5	えのきだけ「博多えのき」	25.5%	(92名)
6	ぬめりすぎたけ「博多すぎたけ」	1.7%	(6名)
7	「県産たけのこ」	15.5%	(56名)
8	「県産しいたけ」	13.9%	(50名)
9	緑茶「福岡の八女茶」	58.7%	(212名)
10	緑茶「八女伝統本玉露」	14.1%	(51名)
11	畳表「博多華織(はかたかおり)」	1.7%	(6名)
12	鶏肉「はかた地どり」	44.9%	(162名)
13	鶏肉「はかた一番どり」	42.7%	(154名)
14	牛肉「博多和牛」	16.1%	(58名)
15	牛肉「福岡牛」	6.6%	(24名)
16	豚肉「博多すいとん」	4.7%	(17名)
17	「県産牛乳」	26.3%	(95名)
18	いずれも購入したことがない	5.3%	(19名)
	無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	202	152	1	11	4	34	15	45	33	41	34	31	27	25	28	15	11
品目数	5.7	3.9	1.0	5.3	3.8	2.9	1.7	4.7	3.6	5.6	4.4	6.2	3.8	7.2	4.5	8.1	5.5

○結果の概要

多くの品目において購入者が増加した。

2(3) 県産農林水産物の銘柄(水産)で購入経験があるものを選んでください。

(今年度調査 N=355 複数回答可 回答件数=824)

県産農林水産物の銘柄(水産)		割合(今年度)	人数(今年度)
1	「福岡有明のり」	57.6%	(208名)
2	「豊前海一粒かき」	21.1%	(76名)
3	「糸島カキ」	38.0%	(137名)
4	「唐泊恵比須かき(からとまりえびすかき)」	6.1%	(22名)
5	「津屋崎干軒かき」	3.6%	(13名)
6	「若松妙見かき」	0.3%	(1名)
7	「豊前本ガニ」	3.6%	(13名)
8	「鐘崎天然とらふく」	3.0%	(11名)
9	「カナトフグ」	10.8%	(39名)
10	「夏ふく」	0.3%	(1名)
11	「一本槍(いっほんやり)」(釣りケンサキイカ)	5.0%	(18名)
12	「博多もずく」	11.6%	(42名)
13	「糸島産ふともずく」	4.2%	(15名)
14	「あかもく」	19.7%	(71名)
15	「弘わかめ(ひろわかめ)」	4.4%	(16名)
16	「金印汐わかめ(きんいんしおわかめ)」	1.4%	(5名)
17	「筑前海加布里産天然ハマグリ(ちくぜんかいかりさんてんねんはまぐり)」	0.8%	(3名)
18	「釣りあじちゃん」	2.5%	(9名)
19	「特鮮本鱈」(とくせんほんざわら)	0.3%	(1名)
20	「関門海峡たこ」	13.0%	(47名)
21	「アカウニ」(海士の極(あまのきわみ))	0.6%	(2名)
22	「スイゼンジノリ」	2.2%	(8名)
23	いずれも購入したことがない	18.3%	(66名)
	無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性										
人数	202	152	1	11	4	34	15	45	33	41	34	31	27	25	28	15	11
品目数	2.2	2.0	1.0	1.6	1.0	1.1	0.9	2.0	1.9	1.7	1.9	2.5	2.2	3.4	2.8	3.3	3.0

○結果の概要

重点的に認知度向上を図りたい品目について、「一本槍」「鐘崎天然とらふく」等は購入者が増加、「豊前本ガニ」等は減少した。

3 生鮮食料品を購入するとき、一番重要視することは何ですか。

(今年度調査 N=355 選択は1つのみ)

生鮮食料品を購入するとき、一番重要視すること	割合(今年度)	人数(今年度)
1 鮮度(色つやなど)	43.8%	(158名)
2 産地(国内産、県内産など)	28.0%	(101名)
3 銘柄(例えば、魚沼産のコシヒカリ、松阪牛など)	1.9%	(7名)
4 栽培方法(有機栽培や減農薬栽培など)	3.9%	(14名)
5 価格	20.5%	(74名)
6 その他(次の設問で具体的に記入してください)	0.3%	(1名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他]

鮮度、産地、銘柄、栽培方法、価格すべてを重視する。

○結果の概要

昨年と比較すると、産地よりも鮮度を重視する消費者が増加した。

4 県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるものを選んでください。

(今年度調査 N=355 複数回答可 回答件数=1,166)

県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるもの	割合(今年度)	人数(今年度)
1 イベントでの試食、展示、販売等	25.4%	(296名)
2 卸売市場や量販店での知事によるトップセールス(試食宣伝)	7.5%	(88名)
3 パンフレット、リーフレット等のPR資料の配布	6.4%	(75名)
4 ポスターの掲示	6.3%	(73名)
5 テレビCM、ラジオ番組でのPR	17.3%	(202名)
6 ホームページやソーシャルネットワーキングサービス(フェイスブックなど)を活用	9.1%	(106名)
7 ホテルや人気レストランと新メニューの開発・提供	11.1%	(130名)
8 大手食品企業、コンビニ、酒造会社等と連携した新商品の開発・販売	15.0%	(175名)
9 その他(次の設問で具体的に記入してください)	1.8%	(21名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他(抜粋)]

- ・ふるさと納税
- ・他の商品との違いを知ってもらう機会の創出
- ・学校給食での提供。提供前に、パンフレットを配布。
- ・「あまおう」のような親しみやすい名称。

○結果の概要

全国に利用者がある「ふるさと納税」を提案される回答が多かった。

5 県産農林水産物に関するその他のご意見。

(今年度調査 N=355 選択は1つのみ)

県産農林水産物に関するその他のご意見	割合(今年度)	人数(今年度)
1 ある(次の設問で具体的に記入してください)	9.3%	(33名)
2 特にない	90.7%	(322名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他(抜粋)]

- ・東京、大阪、名古屋等の都市圏で、オール福岡良いもの物産展を毎年行ってみては。
- ・知事などのトップがPRを行いメディアに取り上げてもらうことを何度も行う。
- ・九州の連携をPRする「九州ロゴマーク」があるように、九州一体となって農林水産物を県外へPRしてもよい。
- ・博多〇〇というネーミングが多いが、実際に博多で栽培されているものはあまりないので違和感を感じる。